とびうお

沼津市立静浦小学校
学校だより

平成２５年１２月３日

風になれ　「持久走大会」

１１月２８日(木)、馬込～志下の浜通りにおいて持久走大会を開催しました。前夜の雨はあがりましたが、風が強く、体感温度は真冬並み。風は南から吹いています。コース上では往路は追い風ですが、疲れてくる復路が向かい風となります。子どもたちは、寒さと風と戦うこととなりました。

開会式を終えて、まずは３・４年女子からスタートです。まだ日が差さず、スタート地点に立つ子が寒そうにしていました。レースは順調に、３・４年男子、１・２年男子、１・２年女子と進みます。このころにはやっと太陽も顔を出し、準備運動をする子どもたちの表情にも余裕が出てきました。

終盤、５・６年女子のレースでハプニング発生。連絡ミスで、折り返し地点のコーンが見つからないままスタートしてしまい、先頭の何人かが折り返すことができずに、先の方まで行ってしまいました。特に５年女子は順位にも影響がありました。ごめんなさい。

この大会の運営には、ＰＴＡ役員の方の協力を得ています。また、沿道には多くの保護者や地域の方が応援に来てくださいました。ありがとうございました。

「寒かったですね。寒さに負けず、みんなよくがんばっていたと思います。『がんばる』が少しカッコ悪いと感じ始める年頃かと思いますが、それにも負けず(?)がんばる姿はやっぱりカッコ良く、うれしく思いました。折り返しコーンの問題で悔しくて泣いている子、勝ってしまって悪いなと、たくさんの顔が見られました。できればいつまでもそんな気持ちを忘れないでほしいです。道路に並んで応援する形も良かったと思います。」（５年生保護者）

「一言で言えば、あの風がなければ……。もっと自分の力を出すこともできたのかなと思いました。でも、あの強風の中、本当にみんなよくがんばっていたし、たくさんの涙を見て、練習、本番共に一生懸命がんばったんだなと思いました。」（同）

「音楽鑑賞教室」で楽器の楽しさを体感

１１月２０日（水）本校体育館で音楽鑑賞教室を開催しました。来校したのは、コンセルターレ金管アンサンブルのみなさんで、トランペット（２）、トロンボーン、ホルン、チューバの５人編成です。

途中、子どもたちも金管楽器に挑戦しました。マウスピースで音を出してみた後、実際に楽器を吹いてみますが、なかなか音が出ませんでした。なかにはいきなりすごい音が出る子もいて、大きな拍手。また、打楽器も用意してくれたので、飛び入りで児童が打楽器パートを演奏し、金管アンサンブルと合奏をしました。

５人の演奏は、子どもたちにも馴染みの曲が多く、手拍子したり歌ったりして、子どもたちも大いに楽しみました。ふだん、なかなか生の演奏を聴く機会がないので、貴重な経験をすることができました。

学校アンケートから

11月の初旬に実施しました学校評価（学校アンケート）について報告いたします。（文責校長）

特色ある教育活動

児童「学校には自慢できる活動がある」　保護者「学校は特色ある学校づくりに取り組んでいる」

「そう思う」「だいたいそう思う」児童６９％　　　　　　保護者９３％（昨年８２％）

静浦をテーマにした学習として、保護者や地域の皆様の協力のもと、今年も様々な活動を行いました。また、中学校との合同運動会や「夢を持つ会」では多くの方々に来校していただきました。しかし、それらが子どもたちにとって「自慢できる活動」と胸を張って語れるものになるよう、特色ある活動のねらいについて、子どもたちにもわかりやすく伝えていく必要を感じました。

信頼される学校づくり

児童「学校は楽しい」　保護者「学校は問い合わせや要望等に対して誠実に対応している」

「そう思う」「だいたいそう思う」児童７７％（昨年８８％）　保護者６８％（昨年７７％）

児童だけに実施した前期のアンケートでは、「学校が楽しい」と答えた児童は９０％でした。運動会や修学旅行などの大きな行事が終わったあとでも、子どもたちがわくわくするような活動を取り入れることも必要ですが、何より学校で過ごす時間のほとんどを占める「授業」が、子どもたちにとって充実したものになるよう研修をしていきます。

また、保護者の皆様からの信頼は、学校の命綱です。さらに多くの保護者から信頼していただけるよう、連絡帳や電話での対応等に心を込めていきたいと思います。

わかりやすい授業

児童「授業の内容がわかる」　保護者「わかりやすい授業をしている」

「そう思う」「だいたいそう思う」児童８４％（昨年９２％）　保護者６０％（昨年８０％）

児童の回答には学年によってばらつきがありました。学習内容の難易度の差もあるでしょうが、子どもの興味関心を引きつける導入の工夫など、さらに授業改善に努めていきます。また、ご家庭にも学習内容を知ってもらうよう工夫していきたいと思います。

自分のよいところ

児童「自分にはよいところがある」　保護者「子どものよいところを認め、本人に伝えている」

「そう思う」「だいたいそう思う」児童６７％（昨年７３％）　保護者６７％

児童は学校でとてもがんばっています。その姿を、具体的に、タイムリーにご家庭に伝えていくことを今以上にしていくことが必要だと感じました。

体を動かす

児童「晴れた日は進んで外遊びや業間運動ができた」　保護者「学校は体力づくりに努めている」

「そう思う」「だいたいそう思う」児童７７％　　　　　　保護者８７％（昨年８５％）

今年はグラウンドが遠かったり、低学年の子が遊べる遊具がなかったりして、児童も進んで外遊びに行きにくかったのでしょう。３学期は縄跳びを中心に、体力づくりをしていきます。

総　括

今年度最初の学校だよりに、「今年度は静浦小学校としての最後の年になります」と書き、この一年間を「悔いのないもの」にしたいという決意で始まった平成２５年度でした。「海に親しむ会」のカッターボートレース大会や、小中合同運動会のように、児童にも保護者にも喜ばれる行事を行うことができました。しかし学校アンケートのいくつかの項目のように、まだまだ課題は残っています。

「教育は人なり」の言葉のとおり、学校教育において一番大切なことは、教師と子ども、教師と保護者の人間関係だと思います。私たち教職員は自分たちの教育活動を今一度見直して、誰からも信頼されることをこれからも目指していきたいと思います。

来年４月には静浦小中一貫学校がスタートします。新しい校舎も完成間近です。新しい学校に「希望」という魂を込めることができるように、今年度の静浦小の成果と課題を問い直していきます。